



北海道札幌慢
曲尺科大學
八田三郎様

十一月三

相根塔之記
屬住持

人倉林監造

博多方里三面共ハ越え先家
知もつけ共、准支多月十六日大渡を
去り午未東京市より中華人民國至
名之三十備中、有之甚多之十日程
入復す。やう色々之理由之了是正
博多車も石は減し牛、立候也之
前復十上、開て人仕し候事、他
社と同様、色々と面偏重有之甚多片
付て後、博多車差して移り、支一厚
片付、椅子モザンム。乾燥一瓣
之上、油向け其房付

博多下今下、西より、大渡等
カ勝本、お伊訪問、トキ、方車之
方を出世段期、御会て、而、而人多を
得、や否や、みる、今、不思及共之も
訪問、トキ、

只今、之を何や能やナレ、も落体
不平、早速、酒を半升、も奉、乞、せ、免
られ、而、而、上、免、へ、も免れず、祖、父、
頃、夏奉、代、年、之、改、而、何、半升、
服、之、

昨日、未、名、約、五、人、會、用、行
今、度、之、大、決、心、上、高、地、半升、
兩、名、安、輕、を、得、之、大、決、向、り、ア、ル
大、處、の、用、上、余、て、後、傳、了、中、正
十一月、六、